

**製品名:** バックスウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21477

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:2000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:21kD;Observed MW:21kD

**抗原情報**

遺伝子名	BAX
別名	BAX;BCL2L4;Apoptosis regulator BAX;Bcl-2-like protein 4;Bcl2-L-4
遺伝子 ID	581.0
SwissProt ID	Q07812
免疫原	ヒト Bax の合成ペプチド

**背景**

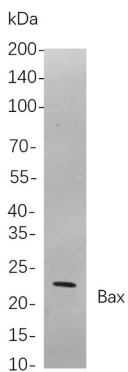
細胞局在: 細胞質、核。BAX (BCL2 関連 X、アポトーシス制御因子) によってコードされるタンパク質は、BCL2 タンパク質ファミ

リーに属します。BCL2ファミリーのメンバーはヘテロ二量体またはホモ二量体を形成し、多様な細胞活動に関与する抗アポトーシスまたは促進アポトーシス制御因子として機能します。このタンパク質はBCL2とヘテロ二量体を形成し、アポトーシス活性化因子として機能します。このタンパク質はミトコンドリア電位依存性アニオンチャネル (VDAC) と相互作用し、その開口を増加させることが報告されており、その結果、膜電位の低下とシトクロム c の放出が引き起こされます。この遺伝子の発現は腫瘍抑制因子 P53 によって制御されており、P53 を介したアポトーシスに関与することが示されている。BAX については、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

## 研究分野

-

## 画像データ



Bax Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用しました。